

同窓会だより

編集・発行

宇都宮短期大学
人間福祉学科同窓会
2003.12.1

第1号

学長挨拶 須賀 淳

同窓会だよりの発行を心よりお祝い申し上げます。総会や短大祭などにお越しいただき、皆さんがお元気でご活躍の様子を伺い、とても嬉しくまた頼もしく思っています。

少子高齢化社会の到来に対して、社会福祉の制度や施設はまだまだ不十分で、今後一層の充実が必要とされています。皆さんはその中核を担う役割が大いに期待されていますが、一人だけの力で達成できるものではありません。職場で悩み辛いつきに励ましてくれたりじつと見守ってくれるのは、かけがえのない学友です。

同窓会だよりをご覧いただき、それぞれに頑張っている先生方や同窓の仲間の現状を知り、また新たな友情とコミュニケーションを広げていただければと願っています。

会長挨拶 星 紘子

皆さんこんにちは。今日やっと、皆さんのお手元に同窓会だよりをお届けすることができ、大変嬉しく思います。

五月の総会で会報の発行が決定して以来、役員全員で会報の準備に励んできました。

福祉の現場で活躍している方、新しい分野で一生懸命頑張っている方、そして更なる教養のために勉強を続けている方、皆さんの進んだ道はそれぞれに異なっていますが、短大生の時には感じなかった苦労もたくさんあると思います。そんな時に励ましてくれるのは、学生時代の仲間と、お世話になった先生方です。この会報を読んで、そのことを思い出していただけならと思います。

まだまだ発足したばかりの会です。皆さんにご迷惑をお掛けするかと思いますが、ご意見やご感想をお寄せいただき、よりよい会になるよう努力していきたいと思えます。よろしくご協力のほどお願いいたします。

第一回 同窓会総会

去る五月十七日に宇短大体育館で第一回総会が行われ、本年度の活動計画と予算が承認されました。

年間活動計画

・五月十七日 同窓会総会

・十二月 懇親会

・十二月 同窓会会報発行

十五年度間予算 歳入・歳出

収入の部

同窓会会費	1,600,000円
(1人1万円)	
昨年度卒業企画残金	145,668円
合計	1,745,668円

支出の部

通信費	50,000円
(封筒・切手代)	
印刷費	200,000円
(総会資料・会報)	
雑費	50,000円
(事務用品等)	
予備費	1,445,668円
合計	1,745,668円

役員紹介とあいさつ

会長 星 紘子

会員の皆さんと先生方、そして後輩たちがいつでも交流できる会を目指します。総会の往復はがきはきちんと返信して下さいませうお願いします。

副会長 大山 高正

皆さん元気にしていますか。やっと同窓会会報が出来ました。そのまま捨てないで、目を通して下さいね。これからも毎年会報を出しますので楽しみにして下さいませう。

書記 海老原 由紀

楽しいこと苦しいことがあったとき、ふと短大を思い出して楽しさが倍増する、苦しくてもよし頑張るぞって思えるような会報を作っていきます。是非読んで下さい。

会計 丸山 和美

まるで。元気ですか。私は短大が好きです。後輩や先生方に元気をもらいます。それぞれ今は違うことをしていますが、いつまでも心の支えとなる同窓会にっていきます。

会計 大島 豊

卒業生全員が宇都宮短期大学の楽しい思い出とともに、それぞれの仕事場で活躍することが出来るように頑張ります。

会計監査 加藤 陽介

最初は小さな目標を持ち、それをどんどん大きな目標にし、その目標に近づけるよう頑張っていきます。

卒業記念パーティー

卒業式と同じ三月十八日に東武ホテルで行われた卒業記念パーティーは、卒業生やお世話になった卒業記念パーティーは、卒業生やお世話になった先生方、学生、保護者も参加するという、他大学に類を見ない内容となりました。



卒業生の皆さんは、記念撮影をしたり、これからの進路について先生や友達と話されていました。



先生、お世話になりました。



大学の様子

今年も十一月十五・十六日に宇都宮短期大学祭が行われました。今年度から幼児福祉専攻の学生が加わり、ますますパワーアップした内容の大学祭となっていました。

今年のテーマは「私たちの『心』、あなたへ」でした。学生たちは、日ごろの勉強の成果を展示したり、来場したお客様に一生懸命説明したりと、大忙しな様子でした。

芝生スペースにはたくさん模擬店が出展し、大勢の人出で賑わいました。



会員の近況

会員の方にインタビューしてきました。

社会福祉専攻 小室 勇さん

私は今、福祉関係とは違い、某スーパーマーケットに就職し、毎日野菜等を扱っています。なぜ福祉ではなくスーパーマーケットに就職したかというと、福祉施設で働くよりも自分に合っているかなって思ったからです。スーパーマーケットにはお年寄りがやって来ます。それなりに勉強したし、資格も取ったし少しは役に立っていると思います。給料は安いけれど、お客様に信用されることが私の目標です。私は誰にも負けなくらい誇りを持って働いています。

社会福祉専攻 川俣 美陽さん

卒業後、病院の相談員の仕事に就きました。仕事の内容は、患者さんや家族の相談を受けることや、入退院の調節をすることです。毎日が大変ですが、第一希望の職種であったし、やりがいがあります。

最近自分で変わったと感じる事は、少しずつ人の気持ちを客観的に受け入れられるようになってきたことです。自分の価値観にとらわれず、一人の人と向き合うのは想像以上に大変ですが、改めて人と向き合う事の大切さを学んでいます。

介護福祉専攻 根本 尚美さん

短大を卒業して半年以上が過ぎ、今までに事故や入所者の最後を見届けたりとさまざまな事があり、精神的に不安定な時期がありました。自分の判断によって人の人生を左右させてしまう可能性、その責任の重さを実感し、自分にはこの仕事は無理なのではないかと考えました。しかし、落ち込んだとき「どうしたの。いつもありがとうね」等とお年寄りから声を掛けられ、私のほうが元気をもらってしまいました。そんな人生の先輩達と生活を共にし、いろいろな考えを知ることができこの仕事に、改めて素敵だなあと感じました。

介護福祉専攻 向山 喜武さん

私は現在、埼玉県にある心身障害者福祉作業所『ふれあいの家』というところで働いています。私の施設では、毎日の作業を通してADLの向上や、手足や体全体の拘縮やマヒの予防を行うことで、一人ひとりの利用者が自立した生活を送れるよう、援助を行っています。

また、ケースごとにケアプランを作成したりその人が自立するために今一番何が必要なのかを考え、人生全体を視野に入れた支援を行うことで、自分自身が成長するためには何が必要なのか考えることが出来る、とても良い職場です。

先生からの一言

教員 百田 裕子 先生

卒業生の皆様にはそれぞれの職場で活躍の様子嬉しく思います。皆様には、人間福祉学科の第一期生として、重圧のあった短大生活・就職になったことと思いますが、卒業以来、事ある毎に母校に来て色々な話をして下さり、教員として嬉しい限りです。福祉の現場では利用者の立場に立って支援していいという現実には、自分だけは利用者を見てやるうと実行している話には胸が熱くなります。万人と同じに与えられた時間、どのように実のある過ごし方をするかは皆様一人ひとりの思考と行動力に任されています。悔のない生き方をして下さることを心から祈っています。最後に、福祉の現場は刻々と変わっています。実践力となる福祉人を育成する為に様々な情報を母校に寄せて下さる事をお願い致します。

教員 堀 圭三 先生

最近「スローフード」や「スローライフ」という言葉をよく耳にします。季節感を感じ、地場のあるものをこよなく愛する暮らし方という意味もあるように思います。仕事をはじめる時間に追われ、毎日の業務に追われることも多くなります。そんななかで決して「怠ける」ことではない「スローライフ」について考えてみるのもいいのかなと思っています。と、この原稿を書いていて、それならば「スローサービス」という考え方も面白そうです。

皆さんも考えてみて下さい。

事務局 正田 泰介 さん

記念すべき人間福祉学科第一期生の皆さんこんにちは。お元気ででしょうか。今年から新しく幼児福祉専攻の学生も加わり、一段と活気溢れる大学になってきました。皆さんは先輩もない学生生活の中で、色々と不便さを感じたこともあったかと思いますが、今では皆さんが創り上げてきた様々な実績が伝統として後輩たちに受け継がれています。本学を巣立ち慣れない環境での生活では苦勞も多いと思いますが、体につけて、これからも宇短大卒業生として頑張ってください。事務局一同、皆さんの御活躍とお会いできることを楽しみにしています。

教員センターレポート

移動になった先生方

先生、お世話になりました

斎藤信子先生

退職

須田富美子先生

退職

谷川和昭先生

関西福祉大学

根本三枝子先生

横浜国立病院附属専門学校

矢野章永先生

共立女子短期大学

渡辺洋子先生

大妻女子大学

ママになる先生

元気なベビーを産んで下さいね

月橋 春美先生

予定日は三月

松田 佳奈先生

予定日は四月

お知らせ

第二回同窓会総会

日時 五月十五日(土) 午後五時から
場所 宇都宮短期大学構内

体育館一階(予定)

来年の総会も会員の皆さんに往復はがきを郵送致します。出欠確認にご協力よろしくお願ひします。

ホームページ開設

ついに同窓会のホームページが完成しました。ぜひチェックしてみてくださいね。

お待ちしております。

<http://www.ujc.ac.jp/obog/>

編集後記

私たちが短大を卒業して半年以上過ぎました。学生時代がとも懐かしく思われます。

この会報を作るにあたり、何度か大学を訪れました。先生方や事務の方がいつも暖かく迎えて下さいました。教員センターまでたどり着くまでに少々勇気も必要ですが、近況報告に行くのもお世話になった先生への恩返しの一つではないでしょうか。

それでは皆さん、体には気をつけてお過ごし下さい。

来年の同窓会総会でお会いしましょう。

同窓会事務局

〒324 0607 栃木県那須郡馬頭町矢又648
TEL 0287 92 4461

印刷 松井ビ・テ・オ・印刷